

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

林試の森 念願の新入口が完成

便利になって、災害時の安全をさらに確保



(仮称)林試の森公園入口開通式

くす玉が割られて園児と一緒に渡り初め

私たちの憩いのオアシスとして親しまれている林試の森公園は、災害時には広域避難場所として指定されています。

このたびこの公園に、長いあいだ待ち望んでいた5番目の入口が完成し、9月4日(土)に開通式典が行なわれました。



(仮称)林試の森公園入口開通式

式典には、濱野区長をはじめ近隣の町会長、区議会関係者、小山台保育園園児らが参列しました。テープカットの際には、くす玉が華々しく割られ、参列者一同はかわいい園児たちといっしょに渡り初めを行いました。この入口の完成により、災害時には地域の方々の安全をさらに確保することができました。また、日常の散策などには、身近な緑の公園の入口として便利になりました。

振り込め詐欺被害、衰えず

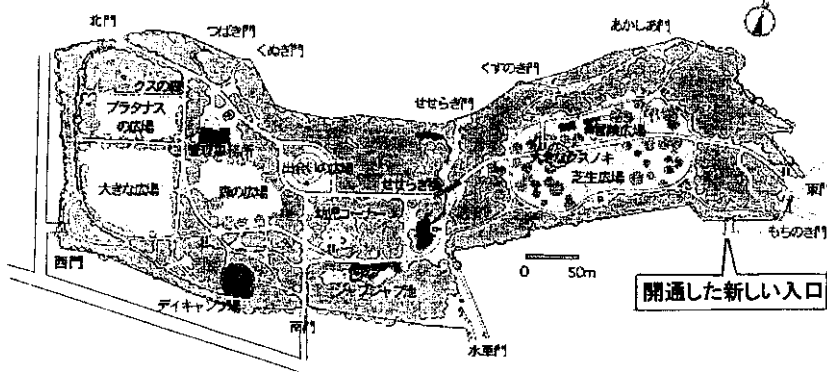
電話口からのひと声は悪魔のささやきです



前号でも「振り込め詐欺に注意」の記事を掲載しましたが、そんなさなかにも、荏原地区管内で詐欺被害が発生しています。息子や警察官、税務署、銀行協会職員などに成りすまして掛かってくる電話には、くれぐれも「注意」を。相手が電話口で次のように切り出してきたら、まずは、「一呼吸おいて、冷静に対処しましょう。荏原警察署防犯係によると、このような手口は「全部ワン」といっています。

- ◎「風邪をひいて、のどが痛い」
- ◎「携帯電話の番号が変わった」
- ◎「カバンを電車で忘れた」
- ◎「あなたの口座が悪用されている」
- ◎「暗証番号を教えてください」
- ◎「〇〇が(通帳、キャッシュカードなどを)取りに行くので、渡してください」。

とにかく、怪しいと思ったら、すぐに110番通報をして、被害を未然に防ぎましょう。

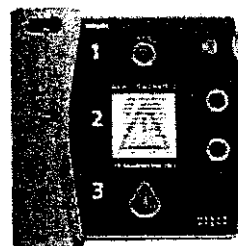


開通した新しい入口

◎各地域センター◎

「訓練用AED」の貸出しを開始

緊急事態に備え
応急手当の方法を
身に付けよう



公共施設をはじめ銀行、大型店舗など人がたくさん利用する建物の入口付近で見かけるAED。自動体外式除細動器と訳されていますが、ひと言でいえば、心肺に異常が認められる重傷者に電気ショックを与えて、本来の機能を回復させるための機器です。地域センターでは9月より、訓練用のAEDを配備し、希望する町会・自治会をはじめ地域の団体(おおむね5名以上で構成の各種団体)を対象に貸出し業務を始めました。

これは、大災害などの緊急時に備えて、一人でも多くの方が適切にAEDを使いこなし、応急手当の方法を身に付けてもらうというものです。

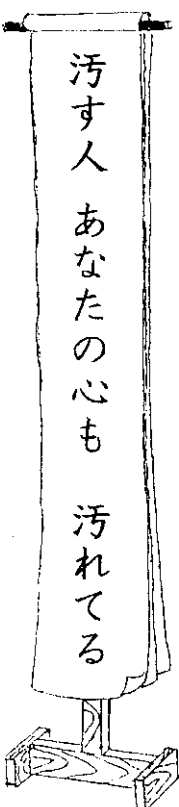
貸出し品の内容は、訓練用AED1台のほか訓練用マネキン1体、説明用マニュアル類、トレーニングパッドなどです。

なお、操作方法の指導が必要な場合は、最寄りの消防署や消防団に相談することができます。

【予約受け・問い合わせ】

荏原第一地域センター
☎(3786)2000

汚す人 あなたの心も 汚れてる



街角 フラガ

あなたも紙面づくりに参加してみませんか。俳句、短歌、川柳、身近なニュースなど事務局までお寄せください。

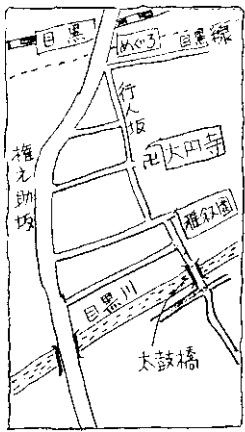
文跡散歩

大円寺と行人坂

東急目黒駅を出ると目の前を黒通りが走っています。左へ歩くと権之助（ごんのすけ）坂です。この坂上から左に分岐する細い下り坂は行人（ぎょうにん）坂と呼ばれ、前につんのめってしまいうな急坂です。坂の途中、左側に大門寺が建っています。

大門寺は天台宗のお寺で、江戸初期の元和（げんな）年間（1624年ごろ）、出羽国湯殿山の行人（修験僧）大海法印がこの坂を切り開いて建てたといわれ、「行人坂」の名称の由来になっています。境内に入って、まず目を引くのは、左手の崖下にずらり並ぶ石仏群です。釈迦三尊像をはじめ五百羅漢像など520体ほどから成り、壯観な眺めです。

振袖火事、車町火事とならんで江戸の三大火事の一つに数えられている行人坂火事は明和9年（1772）2月、この大門寺が火元



数々の歴史的遺物を残す大円寺の本堂

とされています。折から春先の強い南西風にあおられて江戸市中にまで延焼し、千住宿の一部までに及んで、翌日夕方、ようやく鎮火しました。江戸の三分の一を焼失したというほどの大火でした。

境内の石仏群はじつは、この大火で犠牲になった人々たちを供養するために建てられたものです。石仏群の前列、本堂寄りにはとろけ地蔵が立っています。名前のとおり、顔や手が溶けたように異様な姿をしています。江戸時代に漁師が海から引き上げたものといわれ、悩み事を溶かしてくれりあがたい地蔵様。古くから庶民の間で信仰されてきたそうです。また、大門寺は芝居でおなじみの八百屋お七の恋人、吉三（きち）ゆかりの寺でもあります。吉三は、お七が処刑されると出家して西運と名乗り、境内の右手下に建つ明王院（現在の目黒雅叙園あたり）にあったが、明治期になって大門寺に統合し、身を寄せ、お七の菩提を弔うため、念仏堂建立に尽力したと伝えられます。行人坂は、大門寺からさらに険しい曲がりくねった下りで、目黒

川に架かる太鼓橋に至ります。橋の手前左手には目黒雅叙園がそびえ建っています。

掲示板

◇消防の働く姿を生きいき描く◇
恒例の「はたらく消防の写生画展」（主催 荏原消防署 小山出張所、共催 荏原第一地域センター）が、8月5日から同13日まで荏原第一地域センターで開催されました。今年も小山小学校の児童の力作が出品されました。



品川歴史館で

「中原街道」特別展◇

区立品川歴史館（大井6丁目1）では、中世以来、江戸城と平塚（神奈川）を結ぶ商品流通路として重要な役割を果たしてきた中原街道にちなむ貴重な史料を展示した特別展を開催しています。会期は11月23日（火）まで。月曜休館、開館時間は9時～17時、一般300円です。現在区内には、綱ヶ谷坂上から平塚橋あたりと旗の台に、旧街道の一部が見受けられます。【問い合わせ】品川歴史館 電話（3777）4060

俳句短歌



切株に腰を下せば 秋の風
（小山3丁目 青山智恵子）
待ちわびて 月見の夜の曇り空
（小山3丁目 青山淑子）
十六夜（いさよ）は 雲を道連れ天散歩
（小山3丁目 小林 薫枝）
山河にゆったり 母の寝を眠らせる
（荏原1丁目 吉田久美子）
観覧車 おしい人生 見えるかい
（荏原1丁目 吉田 健治）
まほろばは 悠久の時を刻んで
平城宮址に復元される
（小山台1丁目 昌子）
ふくらのマンモロほへの子は育ち
（うさぎ）髪のはたけにならぬ
（荏原1丁目 高橋 智子）

町で見つけた

あんな話、こんな話 ちょっと、いい話

■地元住民に清められお地蔵様もにっこりと 厳しい暑さがつづいた7月下旬の日曜日、三谷八幡神社境内の南隅に鎮座します金山地藏尊のお祭りです。小山5丁目町会の有志が中心になって、御本体をはじめお堂と周囲が清められました。お供えとお花で飾られ、僧侶の読経とお焼香によって法要が営まれました。お地蔵様の靈験にすぎり、地域の安全と住民の方々の幸せを祈ると、にっこりと微笑んでいるような気がしてきました。派手なお祭りではありませんが、さわやかな一日でした。（稲葉弥太郎）

■多摩川の鮎が復活！

祭礼の日の夕暮れ時のこと。神酒所に地元の方から、天ぷらにした大量の鮎が持ち込まれました。

「こんなにたくさん、一体、どうして？」尋ねてみると、二子多摩川辺りで釣った、とのこと。何はともあれ、さっそく頂きましたが、なかなか美味です。

食味はもちろんですが、多摩川に清流が戻ったことに大いに感激しました。（K.I）

■配達員と民生委員の連携、おみごと

8月初旬、荏原4丁目にて一人暮らしをしている91歳の女性が自宅で倒れているところを発見されました。この家にヤクルトを配達している人が、取り込まれていないヤクルトを不審に思い、民生委員に連絡したのです。女性は熱中症で意識がなくなりました。すぐに救急車を呼んで病院に運ばれました。発見が早かったため大事には至らず回復に向かっているそうです。（T）

* * *
皆さんの周りにも《何気ないけれど、ちょっと、いい話》って、ありませんか。どうぞ、ふるって事務局までお寄せください。